

鉄道ピクトリアル

2017年8月号 Vol.67 No.8 通巻No.934

〈特集〉上越線電化70年

■表紙 新清水トンネルを抜ける下り貨物列車……………進藤 匡

土合一土樽 2017-6-3

EOS7 D EF24-105mm F4 L IS 絞り f 4.0 タイム1/800 ISO1600

■グラフ

雪国への途 (1~8ページ)

加藤和毅・佐藤利生・渡邊裕太郎・赤座安彦・松田 巧

……………浜村正弘・上原 健・早川昭文・井上英樹

上越線 思い出の列車シーン (84~87ページ)

……………太田正行・関根敏男・阿部一正・相田俊幸

……………田邊洋夫・静 拓志・佐藤利生

*

絵葉書に見る上越線全通の頃……………所蔵：白土貞夫… 25

一九五〇~六〇年代 上越線を往来した列車の思い出

……………伊藤 昭・伊藤威信… 28

単線時代の湯檜曾界限……………写真：星 晃・石川尹巳… 34

在来線全盛期 上越線の優等列車から

……………写真：大里信之・林 嶋ほか… 36

万年 臨時(季節)列車だった特急「新雪」……………三宅 俊彦… 40

*

Pictorial Color Gallery 追憶—まもなく消えるちくてつ二〇〇〇形—

……………小路 貴… 81

JR西日本「SLやまぐち号」用35系客車／京阪電気鉄道
8000系プレミアムカー／JR神田駅にNRE 神田鐵道倶楽
部オープン／都電荒川線の話／秩父鉄道SLパレオエ
クスプレス運行30周年・「わくわく鉄道フェスタ」開催

88~89
100

各地の話題から……………白川 淳… 90

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)…………… 92

京浜急行デハ236 38年ぶりの帰郷……………京急同趣会…101

ミャンマーを走る日本形車両 2017……………斎藤 幹雄…102

連載・昭和の鉄景(第8回)……………椎橋 俊之…104

■本文

今月の話題：上越線電化70年……………編集部… 9

上越線の歴史を振り返る……………大島登志彦… 10

上越線の思い出……………辻阪 昭浩… 19

上越線の線路をたどる……………祖田 圭介… 49

上越線 電気機関車乗務の回想……………土屋 幸正… 68

〔高崎第二機関区の運転時刻表……………太田 正行…80〕

*

鉄道の話……………編集部… 24

JR東日本107系・115系・211系の最新動向……………日向 旭… 44

書評(629)『昭和解体—国鉄分割・民営化30年目の真実』

……………三木 理史…105

JR東日本E001形「TRAIN SUITE 四季島」……………堀 裕一…106

絵葉書のなかの国鉄ローカル線(30) 塩釜線……………白土 貞夫…118

ミャンマーを走る日本形車両 2017……………斎藤 幹雄…120

5月のメモ帳…………… 127

私鉄史研究に尽力された和久田康雄さんと本誌……………今津 直久…128

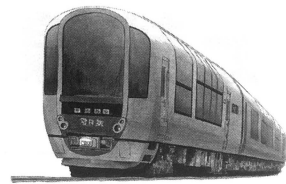
読者短信・情報ファイル…………… 129

後部車から…………… 133

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

上越線電化70年

上越線は東京と新潟を結ぶ短絡ルート形成を担って高崎—宮内間が1931(昭和6)年に全通した路線である。上越線の全通によって東京から新潟までは距離、所要時間も大幅に短縮となり、戦前・戦後を通じて国鉄の重要幹線として華々しい輸送が展開された。水上一石打間の上越国境を抜ける山岳区間には長大な清水トンネルが建設され、開業時より直流電化がなされて、水上機関区を基地として戦前はED16、戦後はEF16など勾配区間に対応した電気機関車が活躍した。当初は両端の区間は非電化であったが、戦後いち早く電化が計画され、1947(昭和22)年には全線電化が達成された。今年はそのから70周年ということになる。終戦直後の電化は、石炭不足による輸送の制約を緩和するものとされるが、東海道本線よりも早い全線電化は、路線の重要性を裏付けるひとつと捉えることができよう。

こうして、戦後高度経済成長期にかけて上越線の輸送は最盛期を迎える。東京と新潟、秋田方面を結ぶ特急・急行が行き交い、重量貨物列車も数多く運転された。1967(昭和42)年には新清水トンネルが完成し、全線複線化されて輸送力は大きく向上した。しかし、1982(昭和57)年の上越新幹線開業を境として、上越線の役割は大きく変化する。東京と新潟を結ぶ旅客輸送の需要は新幹線に移行し、優等列車は削減され、今日では全線を走破する優等列車は皆無となり、普通列車についても区間運転のみで、貨物列車を除けばローカル路線に様変わりしている。上越線は山岳区間が多く、全線にわたり風光明媚な路線で、とくに水上一越後湯沢間は新旧清水トンネル、ループ線など見所も多く、沿線観光をはじめとした需要喚起の施策により、地域を含めた路線の活性化が望まれるところである。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlight Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan